

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年2月12日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）
【会社名】	株式会社ソディック
【英訳名】	Sodick Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤原 克英
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
【電話番号】	(045)942-3111(代)
【事務連絡者氏名】	取締役 総合企画本部本部長 古川 健一
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
【電話番号】	(045)942-3111(代)
【事務連絡者氏名】	取締役 総合企画本部本部長 古川 健一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年11月14日に提出いたしました第33期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）の四半期報告書の記載事項に一部訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものです。

## 2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
- 第2 事業の状況
- 3 財政状態及び経営成績の分析

- 第一部 企業情報
- 第4 提出会社の状況
- 1 株式等の状況
- (6) 議決権の状況
- 自己株式等

- 第一部 企業情報
- 第5 経理の状況
- 1 四半期連結財務諸表
- 注記事項
- (株主資本等関係)
- 4. 配当に関する事項

- 第一部 企業情報
- 第5 経理の状況
- 1 四半期連結財務諸表
- 注記事項
- (セグメント情報)
- 海外売上高

- 第一部 企業情報
- 第5 経理の状況
- 2 その他

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

### 第一部【企業情報】

#### 第2【事業の状況】

#### 3【財政状態及び経営成績の分析】

### (訂正前)

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、米国のサブプライムローン問題を発端とした金融危機や素材価格の高騰、世界同時株安や急激な為替の変動に見舞われるなど景気は後退局面にありました。

当社グループの業績を左右する企業の設備投資においても景況感の悪化は影響が大きく、設備投資計画の縮小や再検討が行われ需要は減少しました。このような市場環境のもと、当社グループは国内の販売体制を再編し、研究開発においては新製品の開発を積極的に行い新たな需要の喚起に努めました。しかしながら、連結子会社の会計基準の変更による製品保証引当金の増加、在外子会社の会計処理の統一による費用の増加、円高の影響による為替差益の減少、財務体質強化の一環として締結したコミットメントライン契約によるアレンジメントフィーを全額一括で費用処理したこと、市況の想定以上の悪化により繰延税金資産を一部取り崩したことなどの諸要因が重なり、業績に大きな影響をあたえました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は309億17百万円となりました。利益面では、営業損失は3億96百万円、経常損失は5億54百万円、四半期純損失は19億87百万円となりました。

(省略)

### (訂正後)

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結会計期間における国内外の経済情勢は、米国のサブプライムローン問題を発端とした金融危機や素材価格の高騰、世界同時株安や急激な為替の変動に見舞われるなど景気は後退局面にありました。

当社グループの業績を左右する企業の設備投資においても景況感の悪化は影響が大きく、設備投資計画の縮小や再検討が行われ需要は減少しました。このような市場環境のもと、当社グループは国内の販売体制を再編し、研究開発においては新製品の開発を積極的に行い新たな需要の喚起に努めました。しかしながら、連結子会社の会計基準の変更による製品保証引当金の増加、在外子会社の会計処理の統一による費用の増加、円高の影響による為替差益の減少、財務体質強化の一環として締結したコミットメントライン契約によるアレンジメントフィーを全額一括で費用処理したこと、市況の想定以上の悪

化により繰延税金資産を一部取り崩したことなどの諸要因が重なり、業績に大きな影響をあたえました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は173億71百万円となりました。利益面では、営業損失は1億38百万円、経常損失は10億29百万円、四半期純損失は18億14百万円となりました。

(省略)

第一部【企業情報】

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(6)【議決権の状況】

【自己株式等】

(訂正前)

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ソディック	横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号	3,918,800	-	3,918,800	7.33
計	-	3,919,800	-	3,918,800	7.33

(訂正後)

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ソディック	横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号	3,918,800	-	3,918,800	7.33
計	-	3,918,800	-	3,918,800	7.33

第一部【企業情報】

第5【経営の状況】

1【四半期連結財務諸表】

注記事項

(株主資本等関係)

4. 配当に関する事項

(訂正前)

(1) (省略)

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年11月14日取締役会	普通株式	495	10	平成20年9月30日	平成20年12月2日	利益剰余金

(訂正後)

(1) (省略)

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年11月14日取締役会	普通株式	495	10	平成20年9月30日	平成20年12月3日	利益剰余金

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】  
（セグメント情報）  
【海外売上高】

（訂正前）

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）

	北・南米	欧州	アジア	計
・海外売上高 （百万円）	<u>1,239</u>	1,941	<u>6,058</u>	<u>9,238</u>
・連結売上高 （百万円）	-	-	-	17,371
・連結売上高に占める海外 売上高の割合（％）	<u>7.1</u>	11.2	<u>34.9</u>	<u>53.2</u>

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	北・南米	欧州	アジア	計
・海外売上高 （百万円）	<u>2,491</u>	3,851	<u>10,047</u>	<u>16,390</u>
・連結売上高 （百万円）	-	-	-	30,917
・連結売上高に占める海外 売上高の割合（％）	<u>8.1</u>	12.5	<u>32.5</u>	<u>53.0</u>

（注）（省略）

（訂正後）

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）

	北・南米	欧州	アジア	計
・海外売上高 （百万円）	<u>1,031</u>	1,941	<u>5,998</u>	<u>8,971</u>
・連結売上高 （百万円）	-	-	-	17,371
・連結売上高に占める海外 売上高の割合（％）	<u>5.9</u>	11.2	<u>34.5</u>	<u>51.6</u>

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	北・南米	欧州	アジア	計
・海外売上高 （百万円）	<u>2,283</u>	3,851	<u>9,987</u>	<u>16,122</u>
・連結売上高 （百万円）	-	-	-	30,917
・連結売上高に占める海外 売上高の割合（％）	<u>7.4</u>	12.5	<u>32.3</u>	<u>52.1</u>

（注）（省略）

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

2【その他】

（訂正前）

平成20年11月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

（イ）～（ロ）（省略）

（ハ）支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成20年12月2日

（注）（省略）

（訂正後）

平成20年11月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

（イ）～（ロ）（省略）

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成20年12月3日  
(注)(省略)